

2022 年度実施概要

学校名

かまいしこども園

採択活動名

サケの学習を通して育む郷土愛と釜石の DNA の継承(2 年目)

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. サケ・海について関心を持つ	年長	
2.		
3.		

取り組みの概要

〈魚に親しむ～岩手県水産技術センター見学～〉

市内の岩手県水産技術センターに見学に行く。展示されている水槽の中の魚を間近で見たり、センターの職員に直接話を聞き、センター内の展示を見学、説明を受け海や海の生き物に興味や関心を持つ。

〈サケを獲る定置網の勉強～生産現場の疑似体験〉

前年度作成したサケなどを獲る定置網の映像を使い働く漁師さんの姿や魚がどのようにして獲れるかなどを学習する。講師には当園の保護者で漁師の方に、映像を見ながら説明をしてもらった。

〈サケの流通の勉強～流通の疑似体験〉

前年度撮影した釜石魚市場の定置船入港～競りまでの映像を見ながら、すなどり舎の齋藤孝信氏の説明や、市場に撮影に言った職員の説明を聞いた。たくさんの質問も出たので、丁寧に答えることで、関心も広がっていった。

〈サケの解体・クッキング〉

実際に釜石で獲れたメス鮭を子どもたちの前でさばいてみせる。裁く前に、サケの表面を触ってみたり、口の中を見てみたり、えらを見たりした後、すなどり舎の齋藤氏がサケをさばき、イクラが入っている様子を見た。その日のサケはそのまま塩焼きにして給食でいただいた。

後日、クッキングの内容を子どもたちで話し合い、「サケおにぎりにしたい」との結果から、おにぎりに合うお米を米屋さんに聞きに行き、購入したり、魚屋さんでサケを購入したりと意欲的に活動できた。

〈サケの稚魚放流〉

サケの不漁が続いていることから難しかった稚魚の放流だったが、年度末でやっとかなうことになった。市内のふ化場に行き、ふ化場の見学、エサやり体験、稚魚の放流を経験した。たくさんの稚魚を放流しても少ししか戻ってこないことを知ることができた。

活動中の写真を 2～3 枚以上、画像ファイルにてご提出をお願いします。

Word に貼り付けた場合も 元データの画像ファイル を提出してください。

フォルダにまとめ、ファイル名をどんな活動をしている際の写真なのかわかるよう変更してください。

フォルダ名は「2. 実施概要_写真_〇〇学校」としてください。

ご提出いただいた写真は web サイト等で使用いたします。肖像権、著作権等にご留意ください。



岩手県水産技術センター見学



岩手県水産技術センターにて定置網の模型で学習



保護者で漁師の佐々木様を講師に定置網の学習



クッキングで使うお米や魚を地元の商店で購入



釜石で獲れたサケの解体
イクラが出てきた！サケの心臓も初めて見た！



サケを使ったクッキング！焼いたサケの身をほぐしておにぎりに！



やっと実現したサケの稚魚放流
大きくなって帰ってきてね！